



# 南風にのって

倉敷市立倉敷南小学校  
学校だより 第8号  
令和6年12月20日

8月26日に始まった2学期が、あと2日で終わります。83日間という長い2学期でした。2学期は学校行事が多く、6年生の修学旅行、4年生の山の学習、秋の遠足、学習発表会など、子どもたちは様々な活動に取り組みました。自分の目標に向かって努力したり、友達と協力したりしながら、本当によくがんばりました。いろいろな場面で、子どもたちの笑顔や自信を確かなものになっている姿を見つけることができ、確かな成長を感じました。

24日には「かがやき」を持って帰ります。通知表を見ながら、残暑が厳しかった頃からこれまでをお子様と一緒に振り返り、「よくがんばったね。」と温かい声をかけてあげてください。

2学期も本校の教育活動に対し、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

## 学習発表会

11月30日



＜1年生：くじらぐもにのって＞  
国語で学習した「くじらぐも」のお話を歌と音読で表現しました。小学校で初めての学習発表会でドキドキしながらも、元気いっぱいに発表することができました。



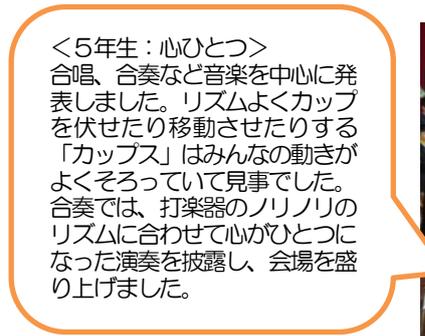
＜2年生：スイミー＞  
国語で学習した「スイミー」のお話を歌や音読を中心に表現しました。わかめやくらげなどの海の生き物たちを体全体を使って上手に表現していて、思わず微笑んでしまいました。



＜3年生：音楽の旅に出発だ！！＞  
合唱、合奏、リコーダー奏、英語の歌などを発表しました。初めての体育館での発表でしたが、3年生全員で息を合わせてがんばりました。会場が楽しい雰囲気になりました。



＜4年生：倉敷南あいサポートプロジェクト＞  
総合的な学習で学んだことをまとめて、グループごとに発表しました。パソコンを使って自分たちでプレゼンを作り、クイズなどを交えながら分かりやすく発表しました。とても詳しく調べていて感心しました。



＜5年生：心ひとつ＞  
合唱、合奏など音楽を中心に発表しました。リズムよくカップを伏せたり移動させたりする「カップス」はみんなの動きがよくそろっていて見事でした。合奏では、打楽器のノリノリのリズムに合わせて心ひとつになった演奏を披露し、会場を盛り上げました。



＜6年生：共に生きる～走れメロス～＞  
6年生全員で劇に挑戦しました。衣装や小道具なども自分たちで準備し、照明や幕など裏方の仕事もがんばり、みんなでつくり上げた劇でした。人物の気持ちや伝わるような動きやせりふの言い方を工夫して、大きな舞台上で堂々と演技する姿は見る者に感動を与えました。最高学年らしいすばらしい発表でした。



# 学校支援ボランティアの皆様といろいろな学習をしました

## 1年生 昔遊び



あやとり、お手玉、こま、はねつきなどの昔遊びを楽しみました。ボランティアの皆様が優しく教えてくださり、子どもたちもいろいろな遊びにチャレンジして楽しい時間を過ごしました。

## 2年生 九九



2年生は2学期にかけ算の学習をしました。九九を正しく覚えて唱えることができるように、何回も練習しました。ボランティアの皆様にも九九を聞いていただき、合格シールをもらうのを励みにがんばりました。

## 3年生 昔探検隊



自分たちの住む地域が昔はどのような様子だったのかを教えていただきました。昔は高梁川が2本あったこと、埋めた川のあとに南中学校などがあることなど興味津々で聞いていました。

## 4年生 車いす体験



4年生は総合的な学習で、福祉をテーマにした学習をしています。この日は、車いすに乗る側と介助する側の両方を体験しました。車いすのことをさらに詳しく調べて、学習発表会で発表する人もいました。

## 5年生 ミシン学習



5年生はミシンを使うのが初めてです。エプロンを作る学習には何人もボランティアの方が来てくださり、支援してくださいました。おかげさまで、みんなとてもすてきなエプロンを作ることができました。

## 6年生 室町文化体験



華道、茶道、水墨画の体験をしました。花を生けている様子は真剣そのものです。畳に正座して抹茶をいただくときには自然に背筋が伸びていました。いつも習字で使っている筆と墨で絵をかくのは新鮮でした。どのグループも貴重な体験ができました。

地域の皆様、いつもありがとうございます。

## 冬休みのくらしについて

間もなく冬休みです。この冬休みの間に、年が改まり、新しい年を迎えます。それに伴い、様々な年末年始の行事があります。子どもたちにいろいろな体験をさせ、有意義な休みにするために、生活の仕方についてよく話し合っていたきたいと思います。

### ○ 手伝いをしっかりさせましょう。

大掃除の手伝いなど子どものできることを積極的に手伝わせてください。

そして、家族の一員としての連帯感や所属感を高めるようにしましょう。

### ○ 豊かな体験をさせましょう。

年越しや年始の行事を経験する際には、子どもの年齢に合わせて行事の意味を

教えるとともに、訪問のマナーや来客への対応など、時と場合に応じた対応ができるようにしましょう。

### ○ 今年の反省をさせましょう。

1年の締めくくりの意味で、ぜひ子どもたちと反省の機会をもってください。成長した点、がんばった点をしっかり認めながら、新しい年への意欲付けをしましょう。

